

「賃金 一万円からの脱出」

(ヤマトGにおける 障がい者支援)

2010年10月18日(月)
ヤマト福祉財団

1

ヤマトGにおける障がい者支援の位置づけ

ヤマトグループの障がい者支援は、以下の四段階で構成されている企業理念の中の「企業姿勢」に明記されている

- 一、社訓
(企業としての基本的スタンス)
- 二、経営理念
(事業展開のコンセプト)
- 三、**企業姿勢**
(コンプライアンスの具体的指針)
- 四、社員行動指針

2

ヤマトグループの社訓

社訓(1931年に制定)

- 一、ヤマトは我なり
- 一、運送行為は、委託者の意思の延長と知るべし
- 一、思想を堅実に礼節を重んずべし

3

「企業姿勢」

1. お客様の満足の追求
- 2. 人命の尊重・安全第一・営業第二**
3. 働く喜びの実現
- 4. 法の遵守と公正な行動・公正で毅然とした経営**
- 5. 地域社会から信頼される企業・障がい者支援**
6. 環境保護の推進
7. 個人情報の保護
8. コミュニケーションの充実と共存共栄
9. 情報開示と説明責任の実践
10. 企業不祥事への対応

4

障がい者の自立支援の中身は

ヤマト福祉財団

社会福祉法人ヤマト自立センター

(株)スワン

賃金一万円から脱出して
月間5万円の収入を目指して

5

ヤマト福祉財団の主な事業

1. ヤマト福祉財団 小倉昌男賞の贈呈
2. 障がい者施設の改善・整備、備品購入の助成
3. 奨学金の贈呈
4. クロネコメール便配達の推進と支援
5. パワーアップ フォーラムと経営塾の支援
6. 財団ニュース等の広報

6

ヤマト福祉財団の予算規模

1. ヤマトホールディングス株式の配当金
2. 社員からの賛助会費
3. 夏のカンパ

年間予算は約1億8千万円

7

社会福祉法人ヤマト自立センターの事業

1. 一般就労支援事業
2. 就職先開拓
3. 定着支援

累積47名、羽田でも計画

8

株式会社スワンの事業内容

1. 就労施設としての受け皿

2. 焼き立てパン屋のフランチャイズ事業

3. 27店、282名の実績

収入を増やして高い工賃を実現するには

I 買い手の立場で考えて、
潜在ニーズを満足させる

II 顧客の顔が見えるまで市場をセグメントして、
オンリーワンの商品を開発する

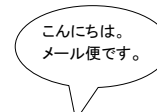
III セグメントした市場で NO. 1 になる

障がい者のクロネコメール便配達事業



財団法人 ヤマト福祉財団

お客さまから、「ありがとう。ごろうさま。」と言われるたびに 成長します。

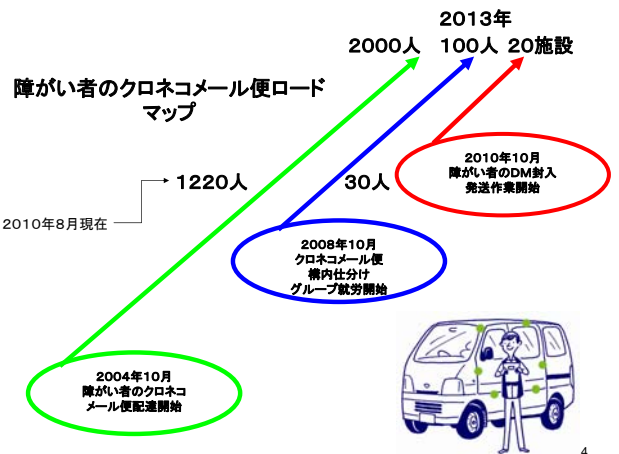


5年間で全国350施設1200人が配達する規模となりました。



ヤマト運輸の社員も、仲間として協力しています。

すべての仕事が、健常者と全く同じです。精神障がい者が50%以上を締め、初めての仕事として挑戦する若い人が多いのも特徴です。



障がい者のDM封入・発送作業

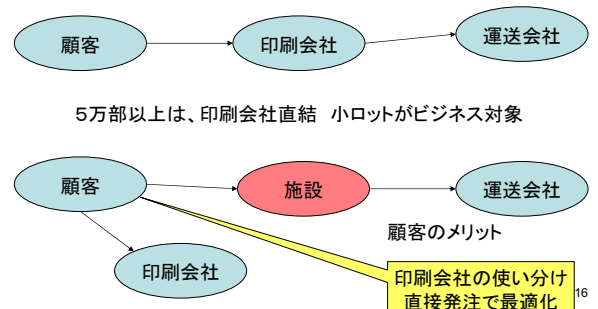


ビジネスの川上に立てる仕事です。

- 施設が営業して、顧客からDM発送を受注します。
- 施設内で、封入作業を行います。
- 運送業者と価格を交渉、顧客と共に最良の選択をすることで、下請から元請に発想を転換します。
- 大きな仕事には、仲間と組む。協力が安定につながります。

障がい者のDM封入・発送作業

目的とする事業スケール



働くちから 革新塾(新堂塾)

本プロジェクトは、プロジェクトリーダーのもと、共同で知的障がい者の働く力を引き出すことをめざす革新塾です。

目的

施設・事業所において個別的なセル方式により展開されている下請け内職的な作業を、即断即決で厳しい納期と高生産性の求められるビジネスモデルのライン・工程方式による作業に転換し、工賃向上を目指します。

目標

3年間で利用者の工賃5万円を目指します。

助成の対象と内容

プロジェクトの対象は、都市部で知的障がい者を対象に内職下請け作業を中心に行っている施設・事業所とします。塾に参加するために必要な交通費、宿泊費、会場費、資料作成費、事務管理費等を助成します。

17

働くちから 革新塾 塾生募集!

本プロジェクトは、プロジェクトリーダーのもと、共同で知的障がい者の働く力を引き出すことを目指します。

目的
事業所において個別的なセル方式により展開されている下請け内職的な作業を、即断即決で厳しい納期と高生産性の求められるビジネスモデルのライン・工程方式による作業に転換し、工賃向上を目指します。

目標
3年間で一人平均5万円の工賃を目指す運動を行います。

対象
都市部で知的障がい者を対象に内職下請け作業を中心に行っている施設・事業所。

リーダー **新堂 麗さん**
公益財団法人 財団法人 働くちから 工賃向上 促進委員会 代表理事
 知的障がい者の働く力を引き出すための方法を模索し、働くちからプロジェクトを行っています。

アドバイザー **菅野 敦 さん**
本塾の内容で大きな成果をあげるのが、知的障がい者の働く力のアップに貢献します。工賃分析です。これらに関する理論的な裏づけは、現場で実践し、その状況に応じて改善していく上で必須です。塾の運営の中では、東京学芸大学菅野敦教授の指導を受けます。菅野教授は、東京学芸大学理学部、教育福祉学系から成る職員の知識障がい者プロジェクトとして活動されています。

期間
3年間で1クールとします。
 初年度 合同研修会 1泊2日 2回
 リーダー訪問 各施設 1回
 次年度 最終研修会 1泊2日 2回
 能力アセスメント合同実施 1回

公募説明会のご案内
 リーダー・アドバイザーの講演および現地見学会を行います。企業のご都合はご遠慮いたします。ご関心のある施設・事業所の方々の参加をお待ちしています。
※公募説明会・現地見学会の交通費・宿泊費は各自ご負担願います。

この事業は、就業促進の第一歩、グループワークの推進を目的とします。

公募説明会 平成22年6月3日(金)
 TKP 高田カフカンダンスセンター
 12:00 受付開始
 13:00 働くちから革新塾 概要説明
 ヤマシタ社労務事務所
 13:30 自由時間
 はたらくのすば
 チャレンジー施設長 新堂 麗さん
 15:00 知的障がい者の働く力向上
 アセスメント
 東京学芸大学 菅野敦教授リーダー 菅野 敦教授
 16:45 就業促進説明会 アワード
 ヤマシタ社労務事務所
 17:00 終了

現地見学会 平成22年6月4日(土)
 9:30 京中央線 武蔵境駅集合
 10:00 チャレンジー 見学
 12:00 解散

説明会の参加申込み
 ヤマシタ社労務ホームページ(11/11up)
www.yamatashita.co.jp/「公募説明会のご案内」欄よりお申し込みください。

施設・事業所の選定について
 説明会参加施設・事業所からの選定を決定する予定です。

公募説明会 (東京学芸大学 菅野敦教授)



9

公募説明会(現地見学)



20

第1回合同合宿



21

終わり

22